

雪が降り始めたら、融雪型火山泥流に警戒！



浅間山の火山活動で、冬期において最も気を付けなければならないのが「融雪型火山泥流」です。昨年の8月30日から、浅間山の噴火警戒レベルは1に引き下げられ、小諸市に被害を及ぼす可能性は低くなりましたが、知識を身につけ、万が一に備えましょう。

「融雪型火山泥流」とは、山頂付近に雪が積もっている時期に、噴火で高温の火砕流などが発生すると、雪が溶け、土砂、火山灰等と一緒に、斜面を高速で流れ下る現象です。

「融雪型火山泥流」が発生すると、市内では、15分程度で居住地域に到達すると予想されており、市からの情報提供の前に被害が発生する可能性も考えられます。

「融雪型火山泥流」は、噴火に伴う現象なので、山頂付近に雪が積もっている時期に、噴火を察知したときは、自らの判断により早めに高台等の安全な場所への避難を心掛けてください。

また、「浅間山融雪型火山泥流マップ」により被害が及ぶ範囲を確認いただき、災害発生時の避難の参考としてください。（平成25年に全戸配布）

「浅間山融雪型火山泥流マップ」がお手元ない場合は、危機管理課までご連絡ください。

融雪型火山泥流イメージ

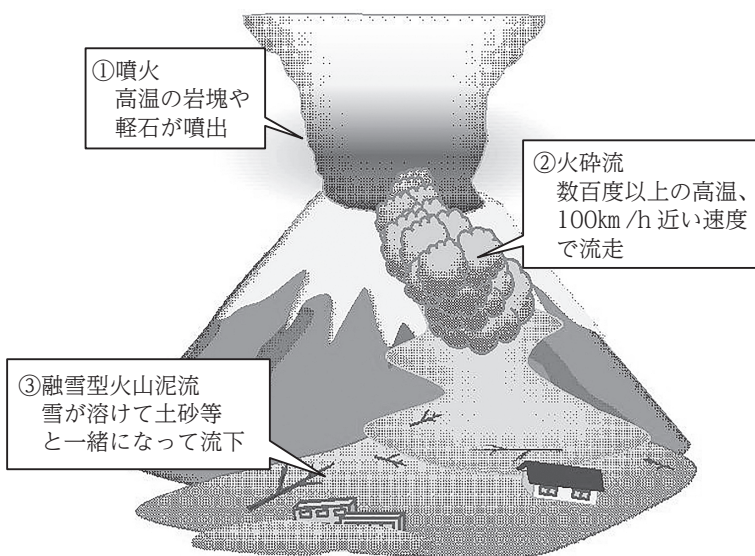


図 危機管理課

恒例!!

『減ちゃんのごみ分別相談所』

どれに分別するか分かるかな？

小諸市ごみ減量キャラクター「減ちゃん」



①照明器具のカサ・カバー（プラスチック製）



②塗料の缶

①燃やすごみ

指定袋に入る大きさの物は燃やすごみです。細長い物は50cm以下に切ってください。切れない場合は破碎処理が必要なので「柄の長いもの類」として埋立ごみで捨ててください。

②資源物（缶：青のコンテナ）

塗料を使い切ったら缶びんの日に青のコンテナに出せます。残ったペンキは新聞紙や古布に出して燃やすごみです。塗料が固まって取り出せないものは埋立ごみです。

図 生活環境課 ごみ減量推進係